

VB2002-B

取扱説明書

このたびは、Nasnos 電動バーチカルブラインドVB2002をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品はリモコンからの電波を受信して作動する電子機器です。お取り付け前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けて安全にご使用ください。
また、お読みになった後も大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ	
安全上のご注意必ずお守りください	2
梱包内容を確認する	4
各部の名称	5
VB2002を取り付ける	6
レールを取り付ける前に	6
レールを取り付ける	6
リモコンボタン情報の登録/解除	11
リモコンの操作方法	12
開き位置と閉じ位置の設定	13
スピード設定	17
ルーパー開閉時の注意	18
取扱い上の注意事項	19
お手入れについて	19
故障かな?と思ったら	20
お問い合わせについて	23
主な仕様	24

安全上のご注意..... 必ずお守りください

本製品を安全にお使いいただくため、また、お使いになるお客様や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するために、ご使用前に必ず本書をよくお読みになり記載事項をお守りください。

- 本書の記載事項や注意書き等の指示に反する誤った取り付けやご使用方法により生じた故障・トラブルは、弊社の保証対象には含まれませんので予めご了承ください。
- 表示内容の区分と絵記号について

 警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または重症を負う恐れがある内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり物的損害が発生したりする恐れがある内容を示しています。



してはいけない「禁止」内容を示しています。



必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

 警告	
 本製品を取り付け使用する場合は、必ず弊社が提示する指示に従ってください。 ・誤った方法での取り付け、ご使用はけがや故障の原因になります。	 風呂場など、水気や湿気が多い場所や暖房器具のそば、ほこりの多い場所に置かないでください。 ・感電の恐れ、または故障の原因になります。
 一次側電源の配線工事が必要な場合は、関連する法令や規定に従って有資格者が行ってください。 ・無資格工事は法律違反です。	 モータユニットや電源プラグに水をかけたり濡れた手で触れたりしない。 ・感電の恐れ、または故障の原因になります。
 電源プラグは根元まで差し込んでください。 ・差込が不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。	 電源コード、電源プラグを破損することはいけません。 ・感電の恐れ、または故障の原因になります。
 電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。 ・プラグにほこりがたまると火災の原因になります。	 指定以外の電圧で使用しないでください。 ・指定された電源電圧以外の電圧で使用すると、火災の原因になります。 ・感電、けがや故障の原因になります。
 電源プラグを抜く際はプラグ部分を持って抜いてください。 ・コードを引っ張ると、コードが破損して火災、感電の原因になります。	 雷の時は電源コードに触らないでください。 ・場合によっては感電や故障の原因になります。
 長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ・プラグ部分にほこりなどがたまり火災の原因になります。	 レールやモータユニットの分解、改造は絶対に行わないでください。 ・発火や感電、故障の原因になります ⇒点検や修理は販売店へご依頼ください。
 モータユニットに発熱、異音、異臭などの異常がある場合は電源プラグを抜き販売店に連絡してください。 ・火災やけがの原因になります。	 火気を近づけないでください。 ・変形や火災の原因になります。

注意



本製品を小さなお子様が使用する場合は、
本製品の取扱い方法を理解した大人の監督
のもとで行ってください。
・事故や故障の原因になります。



動作中に電源プラグを抜かないでください。
・誤動作、故障の原因になります。



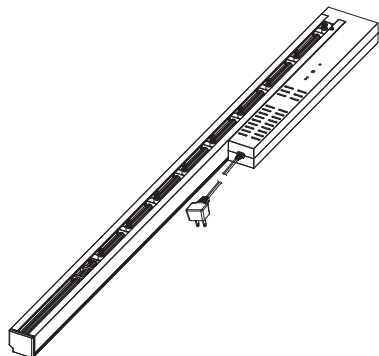
衝撃を与えないでください。
・故障の原因になります。

梱包内容を確認する

ご使用前にVB2002の梱包内容を確認します。

梱包内容に不足・破損などがあった場合は、ご使用にならずお買い求めの販売店までお問い合わせください。

VB2002パーチカルブラインド



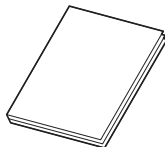
取付ネジ(※)



スピードコントロール用
ドライバー



VB2002
取扱説明書
(本書)



ルーバー



保証書(※)

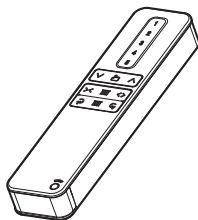


※取付ネジの数は、レールの長さによって異なります。

※他機種と一括ご注文の場合は、保証書はまとめて1枚の発行となります。

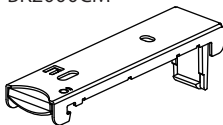
■ オプション

専用リモコンCS2002



天井付けブラケット

モーターユニット側
BK2000CM

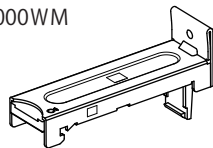


レール側
BK2000CS

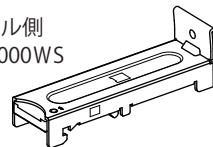


壁付けブラケット

モーターユニット側
BK2000WM



レール側
BK2000WS

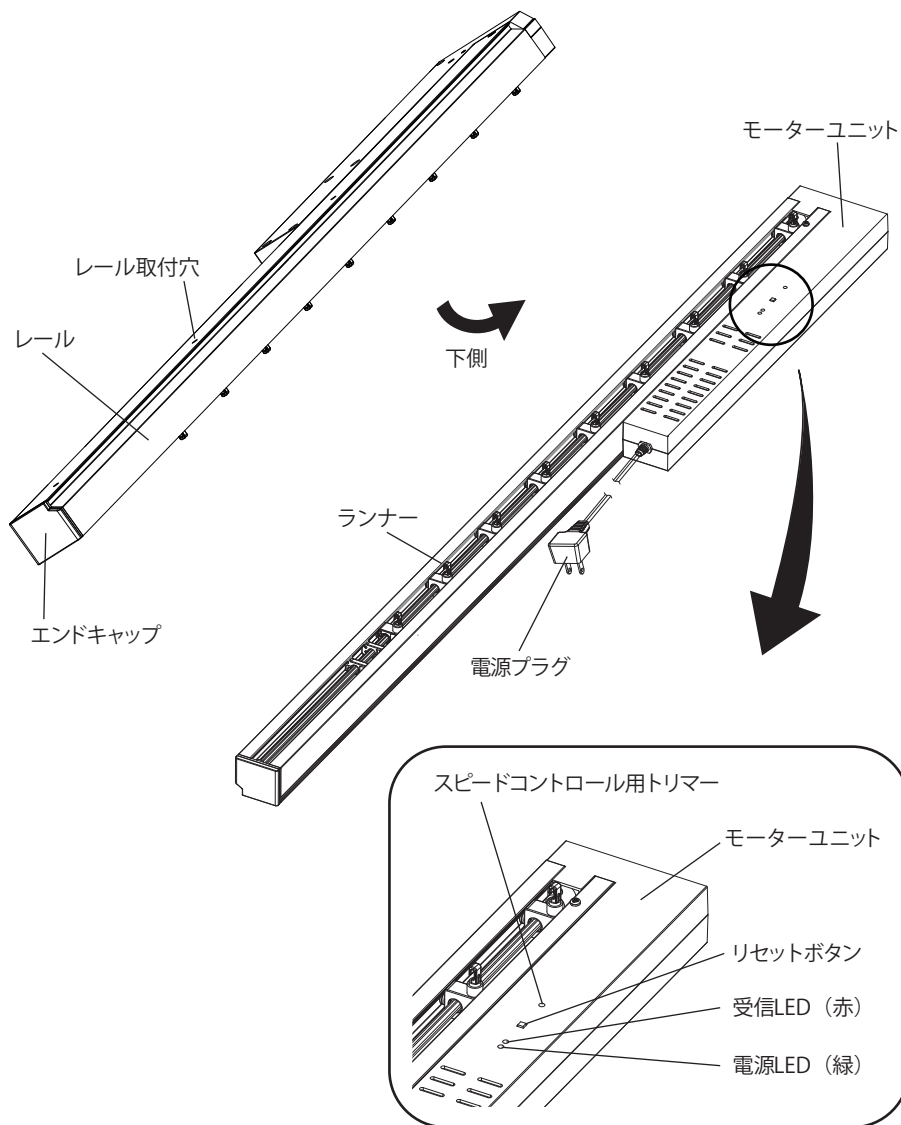


※ブラケットの数は、レールの長さによって異なります。

各部の名称

- 説明イラストと、製品の形状が異なる場合があります。

■ VB2002レール



VB2002を取り付ける

レールの取り付けおよび操作方法を説明します。

- 以下の説明をよくお読みいただいたうえで取り付けを始めてください。

! レールを取り付けた後にモーターユニットの電源を入れてください。

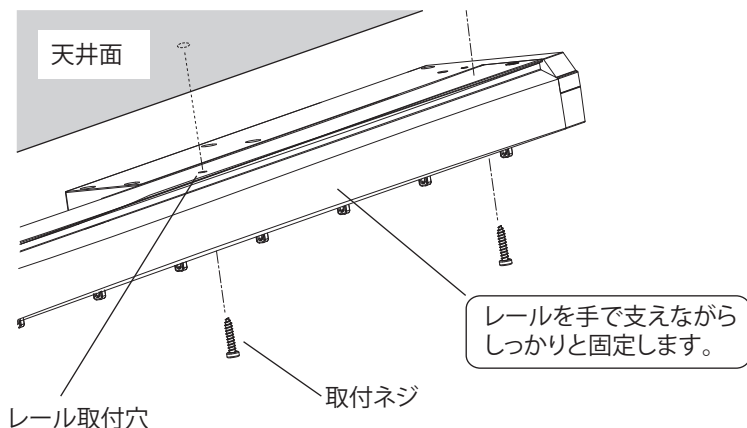
レールを取り付ける前に

- 取り付け場所には必ず下地があることを確認してください。
 - 複数人で作業することをおすすめします。また、レールにショックを与えないように、注意しながら行ってください。
 - 踏み台などを使用して作業する場合は、誤って転落したりしないように注意しながら行ってください。
- ※レール取付穴の数は、レールの長さによって異なります。

レールを取り付ける前に

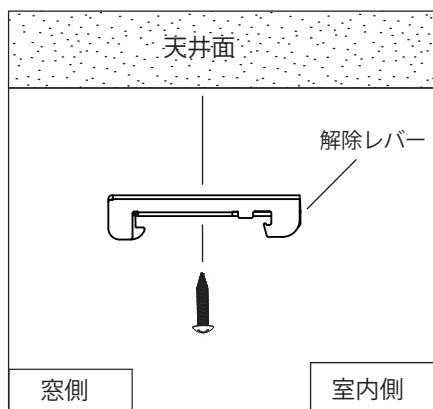
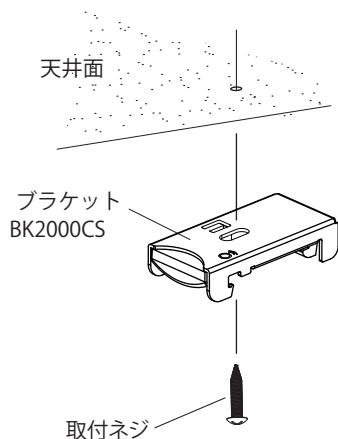
- 天井面に取り付ける (レール取付穴を使用する場合)

カーテンボックスの天井面などには、レール取付ネジで直接取り付けます。



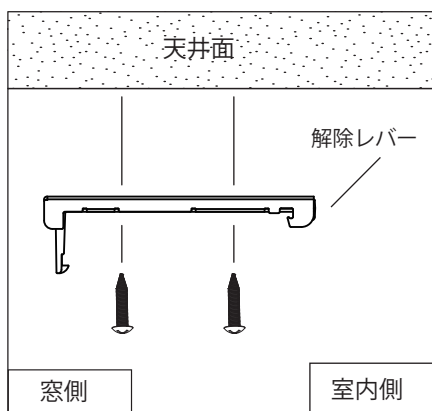
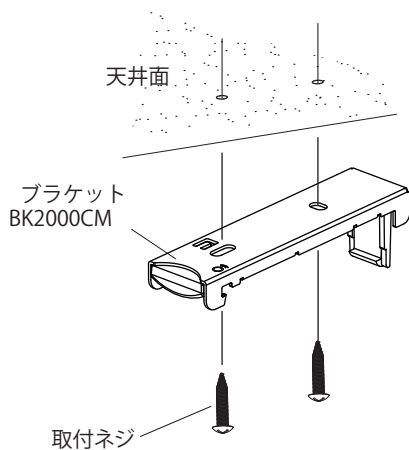
■ 天井面に取り付ける（天付けブラケットを使用する場合）

1 レール側の天付けブラケットを天井面に取り付けます。



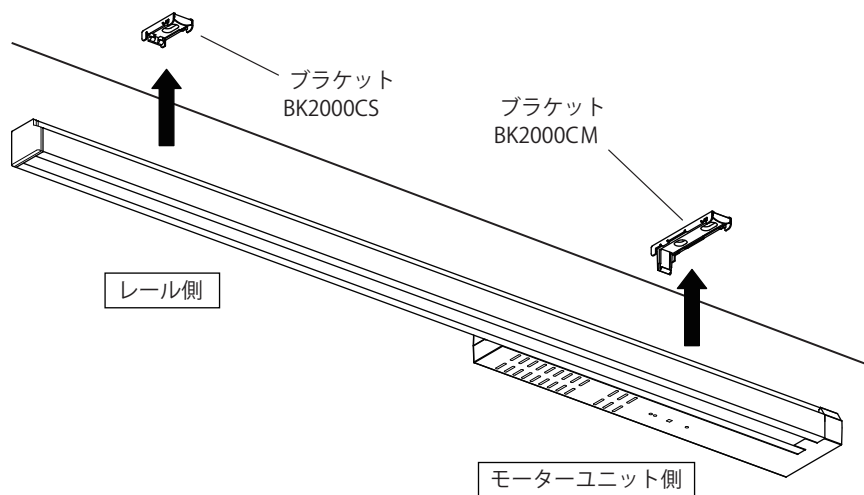
※ ブラケットの解除レバーを室内側に向けて取り付けます。

2 モーターユニット側の天付けブラケットを天井面に取り付けます。

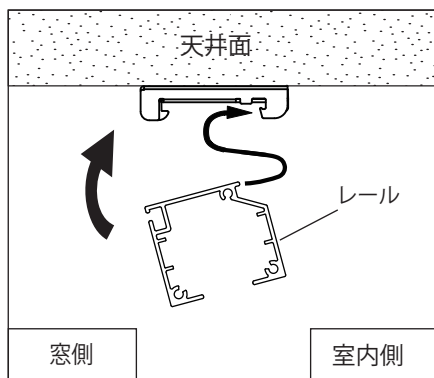
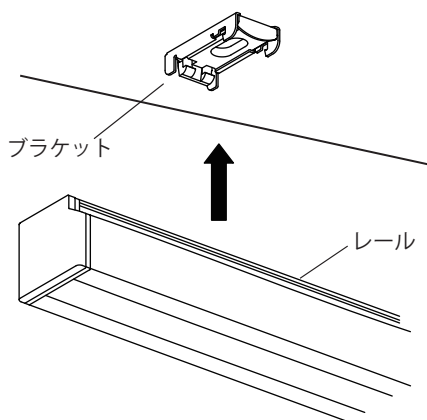


※ ブラケットの解除レバーを室内側に向けて取り付けます。

3 ブラケットにレール本体を取り付けます。



※ ブラケットは500mm～800mm間隔で設置してください。

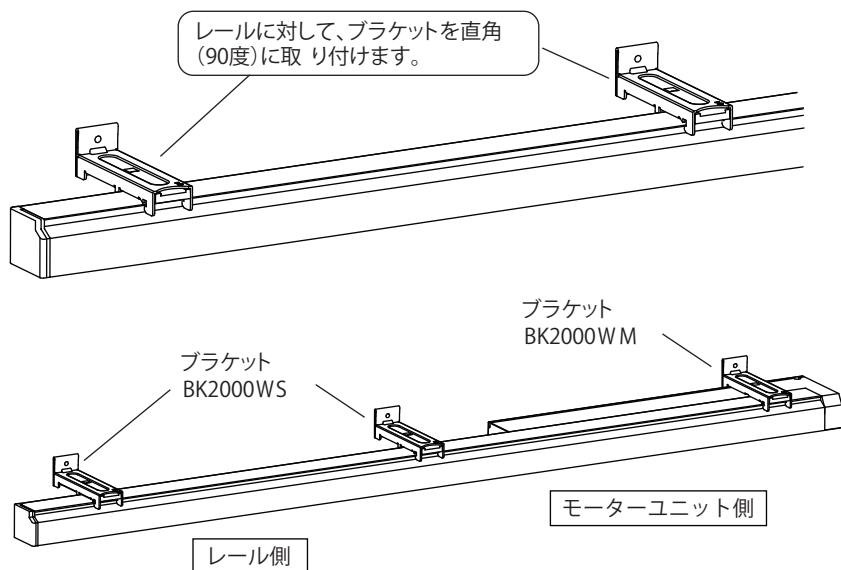


※ ブラケットの手前のフックを引っかけて奥側を押し込みます。

■ 壁面に取り付ける（壁付けブラケットを使用する場合）

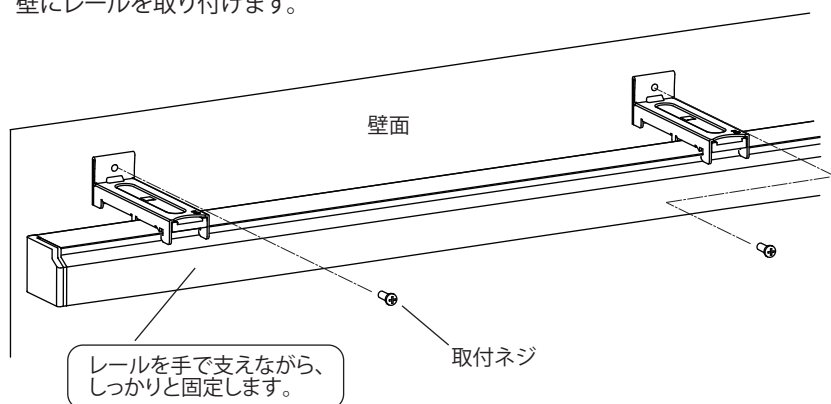
窓枠の正面や窓の上部などの壁面には、オプションの壁付けブラケットを使って取り付けます。

1 レールにブラケットを取り付けます。

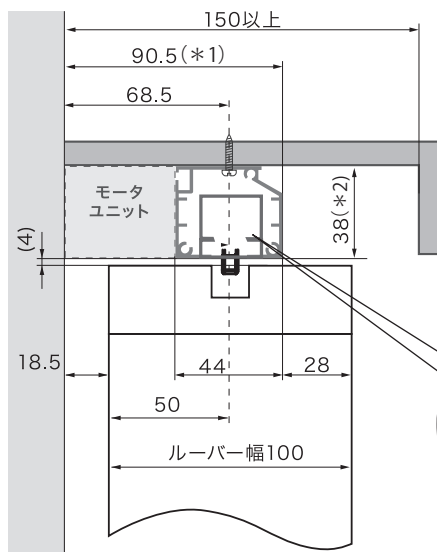


※ ブラケットは500mm～800mm間隔で設置してください。

2 壁にレールを取り付けます。

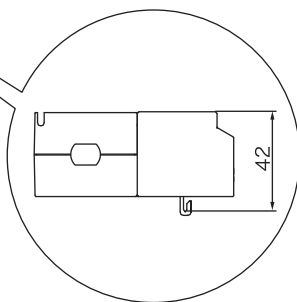


■ 設置例 天井面に取り付ける (レール取付穴を使用する場合)

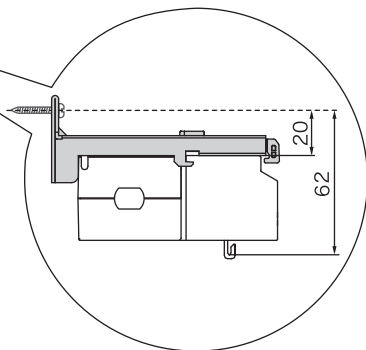
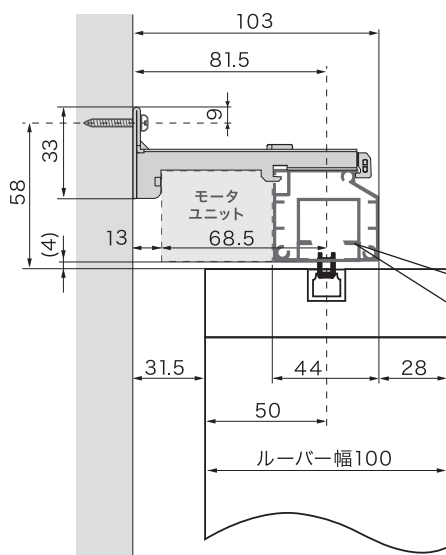


(*1) 90.5mmはモーターユニット部の幅です。取り付けに際しては、モーターユニットを壁に押し付けないように1mm程度の隙間を設けてください。取付部の角に丸みがあり干渉する場合はそれを逃げてください。

(*2) 天付けブラケットをご使用の場合、ブラインド全体がブラケットの厚み6mm分下がります。



■ 設置例 壁面に取り付ける(壁付けブラケットを使用する場合)



リモコンボタン情報の登録/解除

■ リモコンボタンの解除

本機とリモコンをセットでご購入の場合、工場出荷時にリモコンボタン情報を登録してあります。

本機とリモコンを別々にご購入頂いた場合や追加のご購入の場合には、以下のようなリモコンボタン情報の登録作業が必要となります。

- 本体を取り付けた後、電源プラグをコンセントに挿します。

※ リモコンボタンが登録されていれば、電源を入れると電源 LED (緑) が点灯し、本製品は使用可能な状態になります。

- リモコンボタンが登録されていない場合は、受信 LED (赤) が点滅を繰り返します。

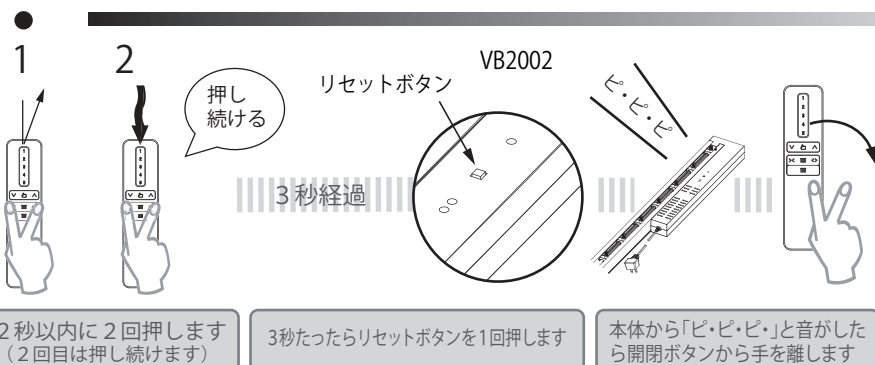
※ リモコンボタン情報を登録するまでは本体の受信LED(赤色)に点滅し、ルーバーは開閉しません。

- 受信 LED (赤) はリモコンの信号を受信している時にも点灯します。

■ リモコンボタンの登録

1. 本体の電源プラグをコンセントに挿しておきます。
2. チャンネル切替ボタンを押して登録するチャンネル番号を選択します。
3. 開閉ボタン『><』・『<>』を同時に2回押します。2回目は押し続けます。
4. 2回目を押し始めて3秒経過してから『リセットボタン』を1回押します。
5. そのまま操作ボタンを押し続け、本体から『ピ・ピ・ピ』と音がしたら登録が完了ですので開閉ボタン『><』・『<>』から手を離します。

(注) 開閉ボタンを押し始めてから2秒以内に2回目を押してください。



■ リモコンボタンの解除

登録と同じ操作をします。本体から『ピー』と1回音がして登録が解除されます。

※ 電源LEDやリセットボタンの位置については、5ページをご覧ください。

※ リモコンボタンの登録の際は、開閉ボタン『><』・『<>』を押します。

開閉ボタンを登録すれば回転ボタン『・『』は自動登録されるため改めて登録する必要はありません。

※ 回転ボタン『』・『』では登録作業をしないように注意してください。回転ボタンで登録作業を行うと、ルーバーの回転はできなくなります。

※ チャンネル切り替えボタンではリモコンボタンの登録はできません。

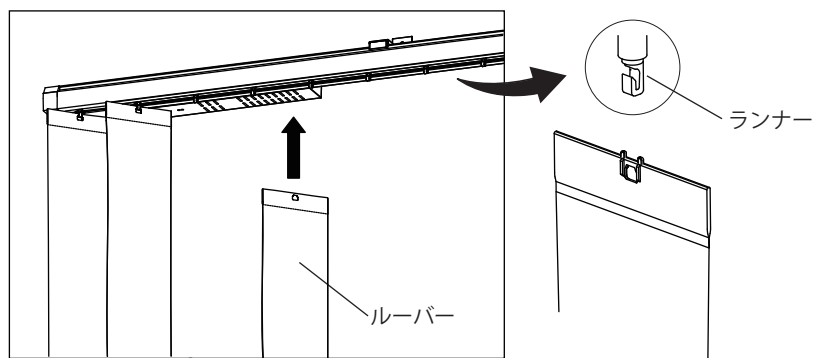
リモコンの操作方法

リモコンの操作方法については、リモコンの取扱説明書を参照してください。

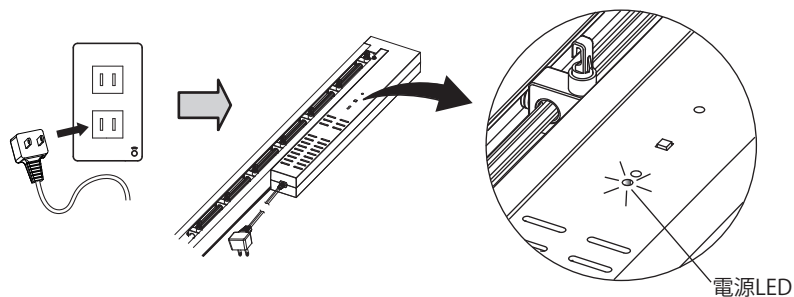
開き位置と閉じ位置の設定

設定準備

- 1 ランナーにルーバーを掛けてください。
- リモコン (CS2002) でランナーの引っ掛け口を垂直に向けて下さい。
 - 左から順に右のルーバーが手前になるように、取り付けます。
 - 無理にランナーの引っ掛け口を正面に向けしないで下さい。



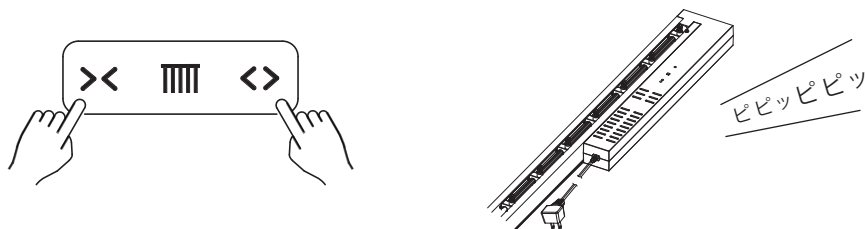
- 2 電源プラグをコンセントに差し込みます。リモコン操作で全閉にすることで『閉じ位置』を自動で設定します。全開にすることで『開き位置』を自動で設定します。



手動設定

通常、ルーバーの開閉を行う場合、以下の手動設定は必要ありません。ルーバーを全開ではなく途中で開きたいなど、『任意の位置』に設定したい場合は、以下の手順で手動設定を行ってください。

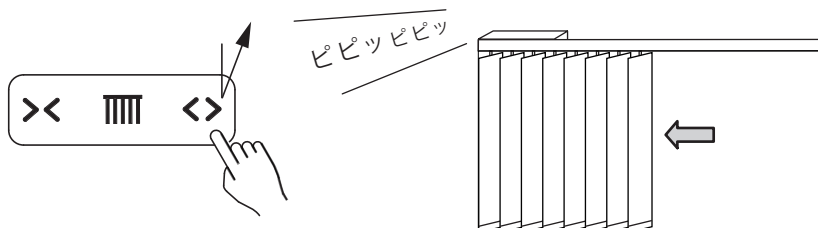
- 1 リモコンの操作ボタンを左右同時に10秒間押し続けます。『ピピッピピッ』と音がしたら手を離します。これで「閉じ位置」と「開き位置」の手動設定モードになります。



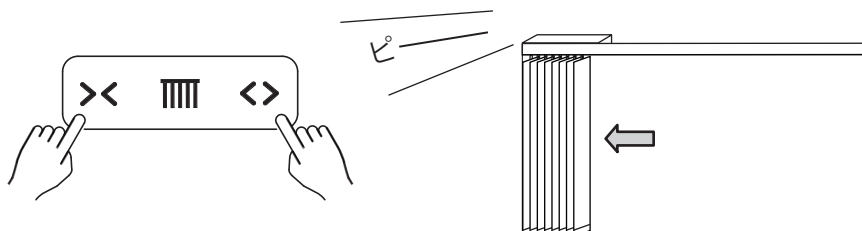
- 2 手動設定モードに入るとルーバーが自動で開閉します。この間、リモコン操作できません。一連の動作が終わるまでお待ちください。

■ 開き位置の設定

- 1 リモコンの操作ボタンの右側を押して「開きたい位置」までルーバーを移動します。



- 2 開き位置が決まったら操作ボタンを左右同時に押し『ピー』という音に変わったら手を離します。これで「開き位置」が設定されます。



■ 閉じ位置の設定

- 1 リモコンの操作ボタンの左側を押して「閉じたい位置」までレバーを移動します。



- 2 閉じ位置が決まったら操作ボタンを左右同時に押し『ピ————』という音に変わったら手を離します。これで「閉じ位置」が設定されます。

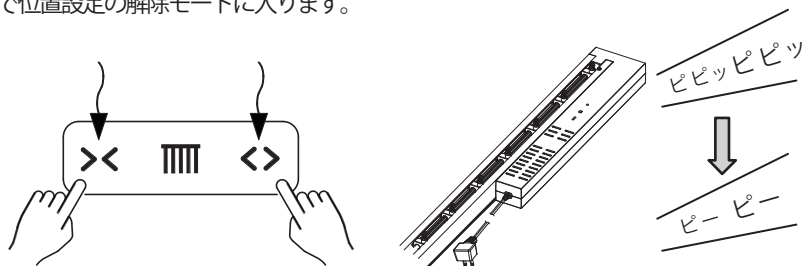


● 設定し直したい場合はもう一度やり直してください。

位置設定の解除

※ ルーバーが正常に開閉しない場合は、以下の「位置設定の解除」を行い、再度電源の入り切りや手動設定をやり直してください。

- 1 リモコンの操作ボタンを左右同時に10秒間押し続けます。『ピピッピピッ』と音がしたら、さらに、8秒間押し続けます。『ピーピー』という音に変わったら手を離します。これで位置設定の解除モードに入ります。



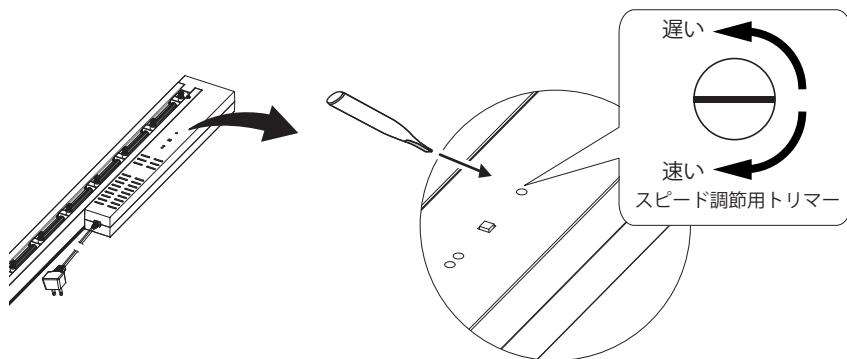
- 2 さらに、リモコンの操作ボタンを左右同時に短押し『ピー』という音に変わったら手を離します。これですべての位置設定が解除されます。
- 3 これで位置設定の解除は終了です。

※ 本機を連窓取付する場合など、2台以上のVB2002をひとつのリモコンで手動設定する場合は、設定する機器以外の電源プラグをコンセントから外してください。

スピード設定

ルーバーの開閉スピードを早くしたり遅くしたりすることができます。また、本機2台のルーバーの開閉スピードを合わせたり、仕上幅の異なるルーバーの開閉時間を合わせたりすることができます。

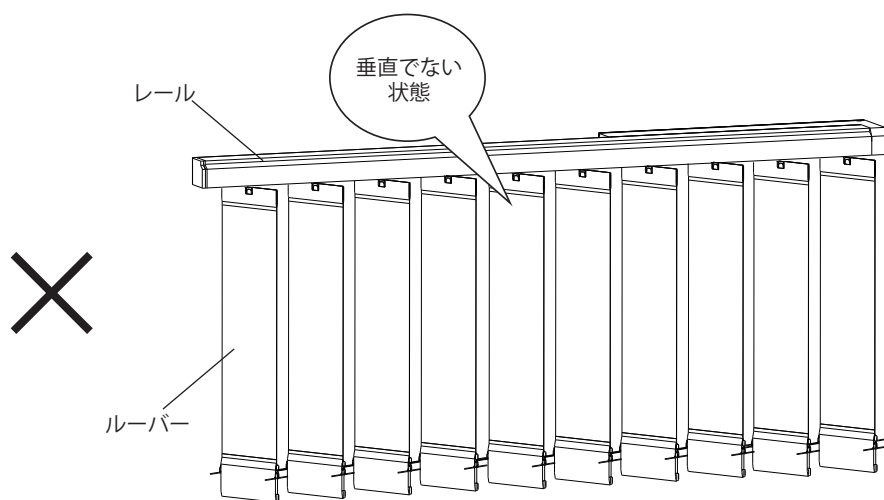
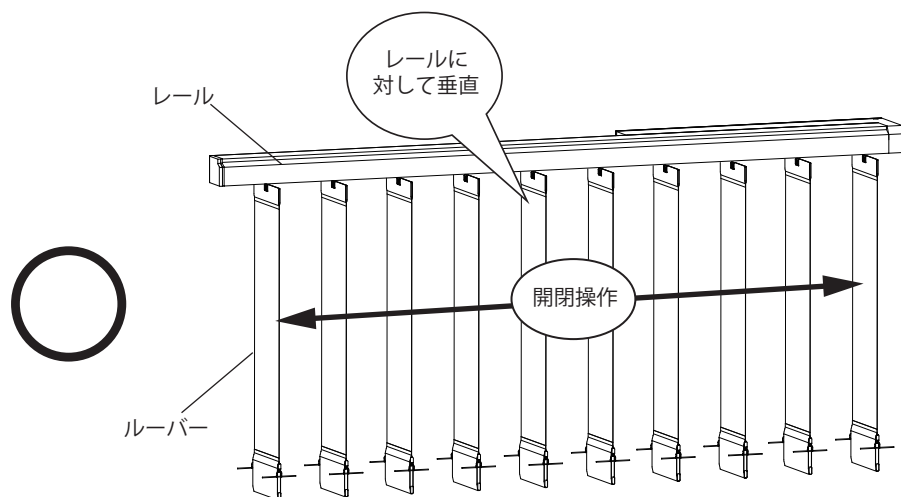
ルーバーの開閉スピードは出荷時に『中間の速度』に設定されています。付属のドライバーを使って開閉スピードを調節してください。トリマーを右に回すと速くなり、左に回すと遅くなります。



- ルーバーが動いている時にトリマーを回さないでください。
- 付属のドライバー以外は使用しないでください。
- トリマーを回し過ぎると壊れる可能性があります。回転角度は左右それぞれ約120度です。

ルーバー開閉時の注意

ルーバーの開閉操作は、ルーバーの角度をレールに対して「垂直になるように」、回転させてから行ってください。ルーバーを「垂直でない状態」で開閉すると、ルーバーどうしが引っ掛かり、正常に動作しない場合があります。



※ ルーバーが引っ掛かった状態で、開閉操作を行わないでください。

取扱い上の注意事項

- 本製品を設置する前には絶対に通電しないでください。通電後の初期動作としてランナーが自動的に動き出し、レール部の機構部品に巻き込まれけがをする恐れがあります。
- 本製品はリモコンからの電波を受信して作動します。部屋の中では電波の反射などの関係で作動しにくいことがあります。その場合は、リモコンの位置を変えて操作してください。
- レール部を改造しないでください。取付け用の穴などの追加をした場合、レールにゆがみが発生し、異音の発生や故障の原因になります。
- ひとつのランナーのフックに掛けられるルーバーの質量に制限があります。「主な仕様」に記載された適合ルーバーの質量をお守りください。上限を超えた使用は、騒音の発生や故障の原因になります。
- ルーバーと床面の間に隙間が開くようにルーバー丈を決めてください。丈が長すぎて床にこすれる場合、モーターに負荷がかかり、ルーバーが正常に開閉できない場合があります。
- ルーバーを手で引いて開閉しないでください。設定した開閉位置がずれたり、機構部や回路部が故障する原因になります。
- ランナーを無理に手で回さないでください。レールの機構部が故障する原因になります。
- 必要以上にルーバーの開閉を繰り返さないで下さい。連続して何度も開閉すると内部の保護回路が働き正常に動作しません。
- 本製品の動作中に近接のAV機器の音声・画像に影響がある場合は、機器の配線と電源コードを離すなどの対策を講じてください。
- 本製品から発熱や異音など異常が発生した場合には、電源プラグをコンセントから抜き、相談窓口にご連絡ください。
- ブザーが「ピー、ピー、」と断続的に鳴る場合は回路の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、ご相談窓口にお問い合わせください。

お手入れについて

- ❗ **レール部の清掃をする場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- ⊖ **お手入れに以下の物は使用しないでください。**
 - ・ 石油、磨き粉、シンナー、ベンジン、ワックス、熱湯、粉石けん
 - 本体は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
 - 汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、固く絞ってから拭き、そのあと必ず乾いた柔らかい布でよく拭き取ってください。
 - 化学ぞうきん等を使用の場合は、その注意書きに従ってください。

故障かな?と思ったら

本機が正しく作動しないときは、下記に該当する項目をQ 1 から順番にご確認ください。それでも正しく作動しない場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

- 購入後 はじめての操作で作動しない
- 今まで操作できていたが、あるときから操作できなくなった
- ときどき作動しないことがある
- その他の症状

※ Nasnosホームページの「よくあるご質問」もご覧ください。 URL: <http://www.nasnos.com/>

購入後 はじめての操作で作動しない

Q 1.「リモコンボタン情報」は登録されていますか？

- 「リモコンボタン情報」が登録されている機器以外は操作できません。

本機とリモコンをセットでご購入の場合、工場出荷時に「リモコンボタン情報」を登録してあります。その場合、目印として本体に「識別ラベル」が貼られており、登録作業は必要ありません。機器とリモコンを別々にご購入頂いた場合や、追加でのご購入の場合には、識別ラベルが貼られていません。この場合は登録作業が必要となりますので、リモコンの取扱説明書を参照し、登録を行ってください。

Q2. 本機とリモコンとの「組み合わせ」は合っていますか？

- 機器とリモコンは「組み合わせ」があります。

リモコンボタン情報が登録された組み合わせでお使いいただけます。リモコンや機器それぞれの識別ラベルをご覧になり、オーダーシートや納品明細書で組み合わせをご確認ください。

Q3. 電源LED (緑) は点灯しますか？

- 機器の電源 (A C 100 V) を入れてください。

電源を投入すると電源LEDが点灯します。投入にしても電源LEDが点灯しない場合はご相談窓口にお問い合わせください。

(※ 電源LEDの位置は取扱説明書5ページをご覧ください。)

Q4. 電源投入後、ルーバーが自動で開閉しましたか？ (この動作にリモコン操作は不要です。)

- 電源を入れると電源LEDが点灯し、ルーバーが自動で閉じ位置まで移動した後、電源投入前の位置まで戻ります。

- ・ ルーバーが自動で作動した場合

リモコンを操作すると受信LEDが「点灯」します。リモコン操作ができない場合は、受信LEDが点灯するか、リモコンの電池を逆に入れていないか、などをご確認の上、問い合わせ先にご連絡ください。

(受信LEDの位置は取扱説明書5ページをご覧ください。)

- ・ ルーバーが自動で作動しなかった場合

- ① 受信LEDが点滅するとき

これはリモコンボタン情報が登録されていないことを示します。本機に識別ラベルが貼ってある場合はご相談窓口にお問い合わせください。識別ラベルが貼っていない場合は、リモコンの取扱説明書を参照し登録を行ってください。

- ② 電源投入後、約90秒で「ピー、ピー」と断続的にブザーが鳴るとき

電源プラグをコンセントから抜き、ご相談窓口にお問い合わせください。

今まで操作できていたが、あるときから操作できなくなった

Q 1. 電源LED(緑)は点灯しますか？

- 機器の電源(AC100V)を入れてください。
 - ・ 電源LEDが消灯している場合
電源が入っていない場合は投入してください。投入しても電源LEDが点灯しない場合は何らかの原因で内蔵ヒューズが切れたことが考えられます。ご相談窓口にお問い合わせください。(※ 電源LEDの位置は取扱説明書5ページをご覧ください。)

Q2. 受信LED(赤)は点灯しますか？

- リモコンを操作したときに受信LEDが点灯します。
 - ・ 受信LEDが「点灯する」場合
ルーバーの開閉位置がずれている可能性があります。
電源プラグを一度抜いて差し込むか、リセットボタンを押してください。
 - ・ 受信LEDが「点滅する」場合
電源を入れると受信LEDが点滅する場合があります。これは「リモコンボタン情報」が解除されている可能性があります。下記の(※1)を参照して登録を行ってください。
 - ・ 受信LEDが「点灯しない」場合
 - ① リモコンボタン情報の登録が解除された可能性があります。
下記の(※1)を参照して登録を行ってください。
 - ② リモコンの電池切れや故障、が考えられます。
下記の(※2)を参照してリモコンを確認してください。
 - ③ 上記①②の異常がない場合
本機の故障が考えられます。ご相談窓口にお問い合わせください。
(※ 受信LEDやリセットボタンの位置は取扱説明書5ページをご覧ください。)

(※1)「リモコンボタン情報」の登録が解除された。

リモコンボタン情報の登録が解除された可能性があります。リモコンの取扱説明書をご覧ください。登録を行ってください。登録作業を実施したときに「ピー」と音がして登録が解除される場合は、再度登録の上、次項の『ときどき作動しないことがある。』を参照してください。登録も解除もできないときは電池切れなどリモコンの異常が考えられます。

(※2) リモコンの「電池切れ」や「故障」がおこった。

リモコンの電池切れや故障、が考えられます。リモコンの取扱説明書をご覧ください。電池の交換や電極の異常などをご確認ください。

ときどき作動しないことがある

Q1. 他のリモコンなどが作動していませんか？

- 2台以上のリモコンを同時に操作した場合、機器が作動しないことがあります。
 - ・他のNasnos製リモコンやタイマーリモコンが同時に作動している場合
このような場合は、少しでも操作時間をずらせば作動しますので再度操作してください。
 - ・周辺で同じ周波数の特定小電力機器が作動している。
同様に、少しでも時間をずらせば作動しますので再度操作してください。

Q2. リモコンの電池は残り少なくなっていないですか？

- 電池を交換してください。
以前は離れていても操作できたが、機器の近くでないと作動しない場合、まもなく電池切れになる可能性があります。リモコンの取扱説明書を参照し電池を交換してください。

Q3. 機器のまわりに電波の障害物となるものはありますか？

- そのような場合は少しリモコンの位置を変えて操作してください。
部屋の中では電波の反射などの影響で、機器に近くても作動しにくいことがあります。
部屋の模様替えなどで家具や建具などの室内環境が変わった場合、電波の反射などの関係で、近くても作動しにくい場合があります。

その他の症状

1. ルーバーの開閉中に停止することがある。

- ルーバーが引っかかりたり、手で押さえたりすると、モーターユニットが過負荷を検出して停止します。原因が取り除かれれば操作可能となります。

2. ルーバーの開閉中に、ひとりでに停止し、しばらくしたら操作できるようになった。

- 室内温度が高かったり、連続して開閉操作を繰り返すなど、モーターユニット内部の温度が上昇すると自動的に停止することがあります。温度が下がればまた操作できるようになりますが、使用環境条件をまもってお使いください。また、連続した開閉操作は行わないでください。

3. ルーバーを自動で全開にしたり、全閉にしたいがリモコンのボタンを離すと止まる。

- リモコンボタンを短く押してください。長く押すと離れた位置で停止します。詳しくはリモコンの取扱説明書をご覧ください。

4. ルーバーの開閉速度を変更したら、ルーバーの開閉位置が変わってしまった。

- ルーバーの開閉速度を変更すると、開閉位置がずれることがあります。その場合は、速度変更後に再度、開閉位置の設定を行ってください。また、長期間使用しているうちにずれてきたり、ノイズなど何らかの原因でずれた場合は、リセットボタンを押して元に戻すことができます。（リセットボタンの位置は取扱説明書5ページをご覧ください。）

5. ルーバーを手で引いて開閉してしまった。
● ルーバーを手で引いて開閉しないでください。設定した開閉位置がずれたり、機構部や回路部が故障する原因になります。ずれた場合は、リセットボタンを押して元に戻すことができます。
6. 電源プラグをコンセントから抜いて差したらひとりでに動いた。
● 電源プラグの抜き差しや、停電(瞬停を含む)が復帰したとき、リセットボタンを操作したときは、リモコン操作無しでルーバーが自動で閉位置まで移動した後、通電前の位置まで戻る動作を行います。
7. 本機から「ピー、ピー」と断続的にブザーが鳴る。
● 電気回路の故障などが考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせについて

お問い合わせの前に

- 「故障かな?と思ったら」の各項目をご確認ください。
- 保証書と納品明細書をお手元にご用意頂き、お買い上げ年月日、商品名などをご確認ください。
- いつ、どのような状況において不具合が発生する/したかをご確認ください。

ご購入後の商品の修理・取扱いについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

商品取扱いに関する技術的なご相談は、

(株)Nasnos フリーダイヤル 0120-748-743
 受付時間 月曜～金曜日 10:00～16:30 (祝祭日を除く)
 FAX 0283-27-0268
 E-mail: service@nasnos.com

保証について

保証の条件、内容等は「保証書」をご覧ください。

主な仕様

● 電動バーチカルブラインド VB2002

製作寸法	仕上幅 500～4000mm (10mm単位) *1 仕上高 6000mm まで
ルーバー仕様	ルーバー重量 300g/1枚以下 ルーバー幅 標準100mm / オプション127mm ルーバーピッチ 標準 90mm / オプション105mm
適合ブラケット	天付け レール用 / BK2000CS モーターユニット用 / BK2000CM 壁付け レール用 / BK2000WS モーターユニット用 / BK2000WM
適合リモコン	専用CS2002
外形寸法	レール 奥行き44mm×厚さ38mm モーターユニット 奥行き90mm×幅400mm×厚さ38mm
材質	レール アルミニウム 白色焼付け塗装 モーターユニット ASA樹脂(ケース)
定格入力	AC100V 50/60Hz
消費電力	開閉時 12W (20VA)以下 回転時 8W 待機時1W以下
開閉速度	15.5秒/m～5.5秒/m
回転時間	6秒 (180度回転)
通信方式	電波式
操作距離	約15m *2
機能	ルーバーの遠隔開閉・回転、速度制御等
保護機能	過負荷、過熱、モータ回転異常等 *3
周囲温度	0～40℃
周囲湿度	10～90%RH (結露が無いこと)

*1 両開き連窓の場合、2本の組み合わせ仕上り幅は最大7200mmとなります。

*2 途中で障害物がない場合の試験用標準リモコンと組み合わせたデータに基づいています。
周囲で使われている電波の状況や建物の構造、材質、家具等の影響で作動し難いことがあります。

*3 自動復帰できない場合はブザーがピー、ピーと繰り返し鳴って異常をお知らせします。

※本製品の仕様は改良のため、また関連法律・規則などの追加・変更に対応するため、今後予告無く変更する場合があります。追加で購入等に際しては販売店にご確認ください。